

令和5年9月市議会定例会  
副市長報告案件説明

報告案件につきまして、御説明申し上げます。

報告第22号から報告第26号までの5件につきましては、いずれも事故に係る損害賠償で、報告第22号は、本年3月、市内大字南長野で発生した道路管理上の事故に係る損害賠償額について、報告第23号は、本年5月、市内鬼無里で発生した道路管理上の事故に係る損害賠償額について、報告第24号は、本年6月、市内川中島で発生した物損事故に係る損害賠償額について、報告第25号は、本年5月、市内若槻で発生した交通事故に係る損害賠償額について、報告第26号は、本年5月、市内更北で発生した施設管理上の事故に係る損害賠償額につきまして、市長専決処分指定の件第4の規定により、それぞれ専決処分をいたしたものでございます。

次に、報告第27号から報告第32号までの6件は、いずれも長野市が一定割合以上を出資している法人の経営状況につきまして、地方自治法第243条の3第2項の規定により、御報告申し上げます。

報告第27号 地方独立行政法人長野市民病院の経営状況につきまして、御報告申し上げます。

初めに、令和4年度の事業実績につきましては、地域の中核病院として、他医療機関等との機能分担、連携強化を図りながら、長野市民病院が担うべき医療である「救急医療」、「がん診療」、「脳、心臓、血管診療」を中心に診療機能の一層の充実に努め、訪問看護ステーションや地域包括ケア病棟を活用し、在宅療養や在宅復帰の支援にも積極的に取り組みました。

また、新型コロナウイルス感染症に対しては、地域の関係機関と連携して、感染患者の入院受け入れや発熱患者の外来診療・検査などへ適切に対応いたしました。

その結果、延べ入院患者数は 13 万 4,805 人、延べ外来患者数は 25 万 824 人となっております。

令和 4 年度決算は、経常収益 176 億 3,300 万 6,467 円に対し、経常費用は 165 億 6,393 万 623 円で、総利益は 10 億 6,907 万 5,844 円の黒字決算となったものでございます。

次に、令和 5 年度の事業計画につきましては、長野医療圏北部における医療の拠点として地域完結型医療の実現を目指してまいります。また、病院再整備事業につきましては、施設の長寿命化対応及び職場環境の改善に向けて、既存棟の改修工事を進めてまいります。

主な年度目標として、新入院患者数 1 万 580 人、医業収支比率 91.8 パーセントなどを設定し、予算では収入総額 186 億 6,900 万円、支出総額 186 億 4,600 万円を見込むものでございます。

報告第 28 号 一般財団法人ながのこども財団の経営状況につきまして、御報告申し上げます。

初めに、令和 4 年度の事業実績につきましては、令和 5 年 2 月 1 日に、全てのこどもの健やかな成長を支援するための活動に寄与することを目的に、当財団を設立いたしました。設立後は、令和 6 年度から長野市放課後子ども総合プラン事業を現受託者である長野市社会福祉協議会に代わって受託するに当たり、業務内容や処遇など施設職員を取り巻く環境改善について検討を進めるとともに、財団事務局においても必要な人員体制の構築を図るなど、令和 5 年度から本格化する受託事業の移行に向けた準備を進めました。

この結果、令和 4 年度の決算につきましては、経常収益及び経常費用は同額の 425 万 6,514 円となり、正味財産期末残高は、本市が設立時に拠出した出捐金と同額の 8,000 万円となったものでございます。

次に、令和 5 年度の事業計画及び予算につきましては、令和 6 年度からプラン事業を受託するための準備を進め、管理費として 6,943 万円を見込むものでございます。

報告第 29 号 公益財団法人ながの観光コンベンションビューローの経営状況につきまして、御報告申し上げます。

初めに、令和 4 年度の事業実績でございますが、コンベンション事業につきましては、各種コンベンション及び合宿の誘致に努めるとともに、開催された各種スポーツ大会や合宿など、計 109 件に対する支援事業を実施いたしました。

また、観光振興事業につきましては、観光案内所の運営、善光寺御開帳に関連した誘客事業、各種宣伝媒体等を活用した観光宣伝事業、フィルムコミッション事業のほか、長野市に宿泊する旅行商品の企画造成支援事業により誘客を促進し、地域経済の活性化を図るとともに、令和 4 年度から令和 8 年度までの 5 か年を期間とする長野市観光振興計画に関連した事業を展開いたしました。

この結果、令和 4 年度の決算額につきましては、コンベンション事業費として 6,065 万 4,963 円、観光振興事業費として 2 億 2,837 万 4,464 円、管理費と合せた経常費用計は 3 億 1,604 万 2,318 円となり、正味財産期末残高は 1 億 2,369 万 7,981 円となったものでございます。

次に、令和 5 年度の事業計画及び予算につきましては、コンベンション事業費として 7,951 万 6 千円、観光振興事業費として 2 億 142 万 2 千円を計上したものでございます。

次に、報告第 30 号 株式会社エムウェーブの経営状況につきまして、御報告申し上げます。

初めに、第 26 期の事業実績につきましては、新型コロナウイルス感染症への社会的対応の変化により、9 月までのグリーンシーズンは、コンサート等のイベントが感染対策を講じながら開催されるようになったほか、ワクチン接種会場としても活用されました。10 月からアイスシーズンに入り、スピードスケートやアイスホッケーの全日本クラスの大会が開催され、スケート競技の拠点としての役割を果たしてきました。

しかしながら、前期後半から上昇したエネルギー価格により、アイスリンクの整氷・維持管理に係る電気とガスの料金が前期同時期よりも 7,800 万円と大幅に

増加したことから、収支面では大きな営業損失となりました。

当期の事業実績として、売上高は6億764万円となり、前期との比較では4,095万円の増加、新型コロナウイルス感染症の影響が少なかった第23期と比較すると1,522万円の減少となり、販売費及び一般管理に係る営業費用は6億5,821万円で、前期と比べ7,933万円の増加となりました。

結果として、当期の営業利益は5,057万円の赤字損失、営業外収支を含めた税引前当期利益は4,833万円の赤字損失となりました。

次に、第27期の事業計画及び予算につきましては、営業収益を6億2,090万円、営業費用を6億6,816万円、経常損失4,726万円を見込むものでございます。

次に、報告第31号 一般財団法人長野市文化芸術振興財団の経営状況につきまして、御報告申し上げます。

初めに、令和4年度の事業実績でございますが、施設の利用状況につきましては、施設稼働率が74.6パーセントとなり、前年から6ポイント、コロナ禍前の令和元年度から8ポイント上昇したほか、利用件数、利用者数ともに前年から増加しました。また、主催事業につきましては、シーズンプログラム・プロデューサーやレジデント・プロデューサーを活用した芸術館ならではのオリジナルプログラムを提供したほか、「芸術館ジュニア合唱団」や「シニア演劇アカデミー」などの市民参加型事業、無料で誰でも気軽に鑑賞することができる「ランチ・タイム・ピアノコンサート」や「訪問コンサート」などの普及・育成事業の充実に努めてまいりました。

これらの結果、令和4年度の決算につきましては、経常収益が4億6,441万6,997円、経常費用は4億3,515万1,515円となり、経常外費用を控除した税引後の正味財産期末残高は1億8,417万3,262円となったものでございます。

次に、令和5年度の事業計画及び予算につきましては、引き続き「クラシック音楽を中心としたオリジナル公演」や「市民参加型事業」、「普及・育成事業」を中心とした企画を展開することとし、収益及び費用は同額の4億7,468万円を見込むものでございます。

次に、報告第 32 号 公益財団法人長野市スポーツ協会の経営状況につきまして、御報告申し上げます。

初めに、令和 4 年度の事業実績につきましては、競技スポーツ振興事業として、協会の加盟団体が競技人口の拡大、競技力の向上及び運営基盤を強化するため、37 団体に負担金を交付するとともに、スポーツ普及事業として、市民のスポーツ活動の奨励、及び地域におけるスポーツの普及のため、スポーツ少年団の育成や大会・教室開催に対する支援を行いました。

この結果、令和 4 年度の決算につきましては、事業費 3,321 万 519 円と人件費を含む管理費を合わせた経常費用の合計は 4,544 万 1,370 円となり、正味財産期末残高は 5,891 万 3,644 円となったものでございます。

次に、令和 5 年度の事業計画及び予算につきましては、競技スポーツ振興及びスポーツ普及に要する事業費 3,610 万 8,000 円と人件費を含む管理費 1,435 万 6,000 円を合わせた経常費用として、5,046 万 4,000 円を計上したものでございます。

以上で、報告案件の説明を終わります。